

武田騎馬隊

武田氏館跡の馬と厩

武田氏領国の甲斐の国は古くから「甲斐の黒駒」の伝説に象徴される名馬の産地でした。甲府市でも古代にさかのぼる馬の骨がいくつか発見されています。

そして、戦国最強といわれた武田氏で有名なのが「武田騎馬隊」でしょう。機動性に優れ、攻撃の主力をなした騎馬の活躍によって、幾多の合戦に勝利をもたらします。

その実像に迫る馬の骨が武田氏館跡から発見されています。体高 125 cm と現在の馬(体高 160 cm)と比べると小さいです。しかし、当時の馬の中では大きく、十分に武者を乗せることができました。また、武田氏館跡には馬を飼育していた厩も発見されており、平面表示で現在復元されています。



甲越大合戦之図



史跡武田氏館跡出土馬復元模型

復元



史跡武田氏館跡出土馬全身骨格



厩図屏風(部分)



史跡武田氏館跡から発見された厩の跡